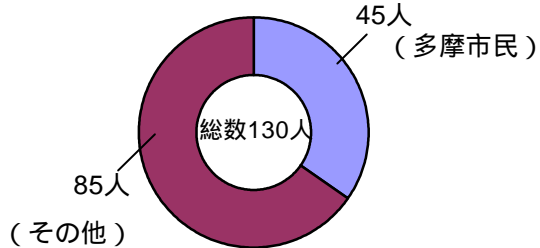


多摩市における徘徊SOSネットワークへの取組

多摩市における認知症による徘徊の現状

(1)多摩中央警察署における認知症高齢者の保護件数

【平成19年の保護件数】



【平成20年の保護件数】

(平成20年1月1日～9月10日までの件数(参考))

多摩市民	その他	計(人)
66	44	110
60.0%	40.0%	100%

多摩市民	その他	計(人)
45	85	130
34.6%	65.4%	100%

⇒ 保護件数の増加傾向

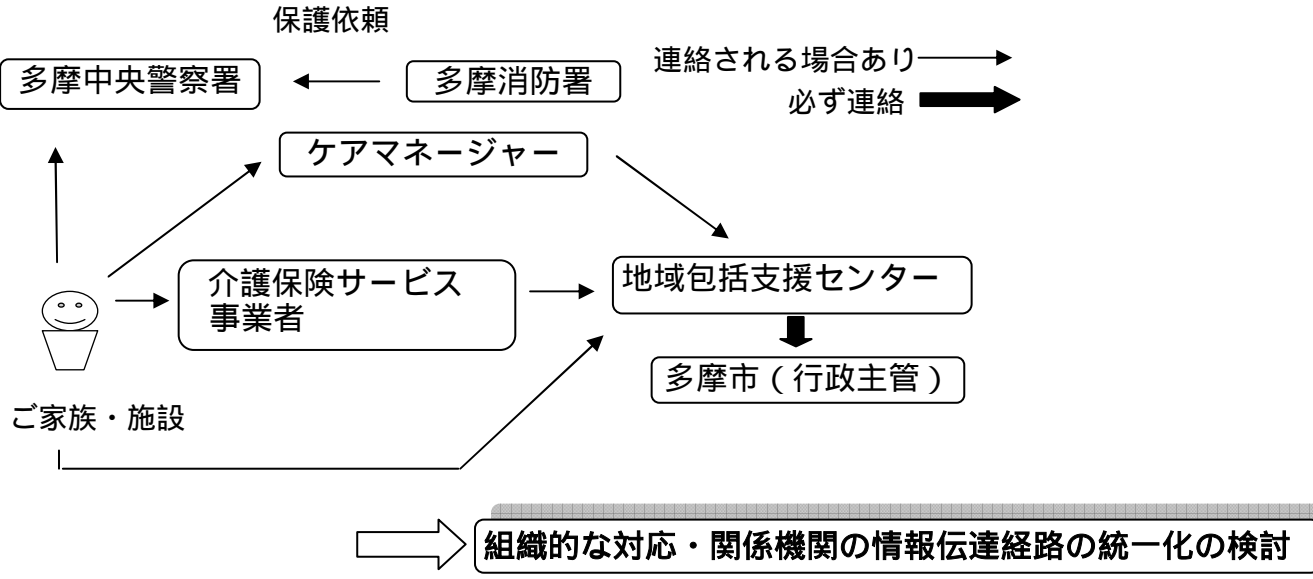
(2)事例の検討

(概要) 73歳女性(要介護2)がある日の夕方、京王線S駅まで夫婦で出掛けてはくれる。夫は体調不良で帰宅。2時間半後に家族から警察へ通報。ご子息が車で夜通し探す。担当のケアマネジャーは翌朝電話をしたとき行方不明を把握。本人は翌朝9時に埼玉県O市で警察が保護(交通経路不明)

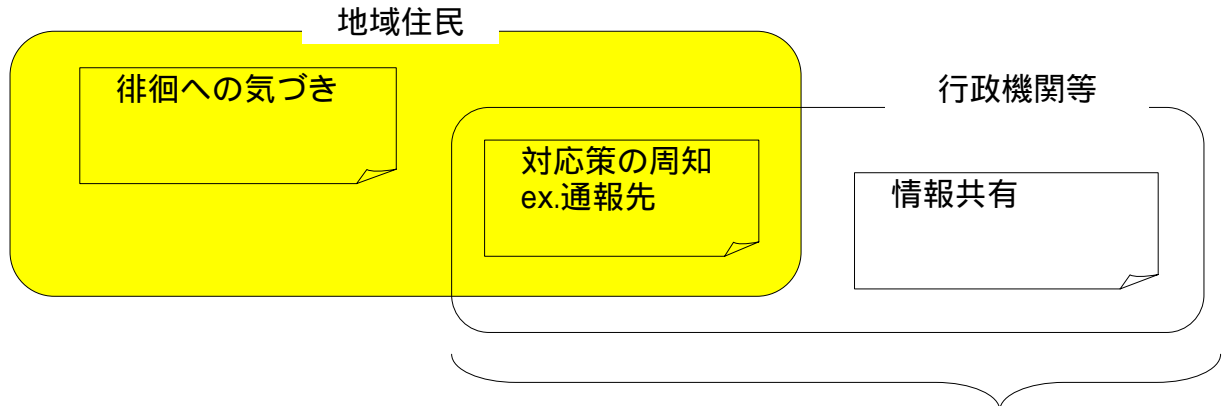
(対応) 1時間経過して所在がわからない場合は徘徊と判断し、担当のケアマネジャーと警察に連絡することを家族とケアマネジャーが申し合わせ

⇒ 初動時の対応力の向上の必要性

(3)徘徊発生時の現行の対応状況

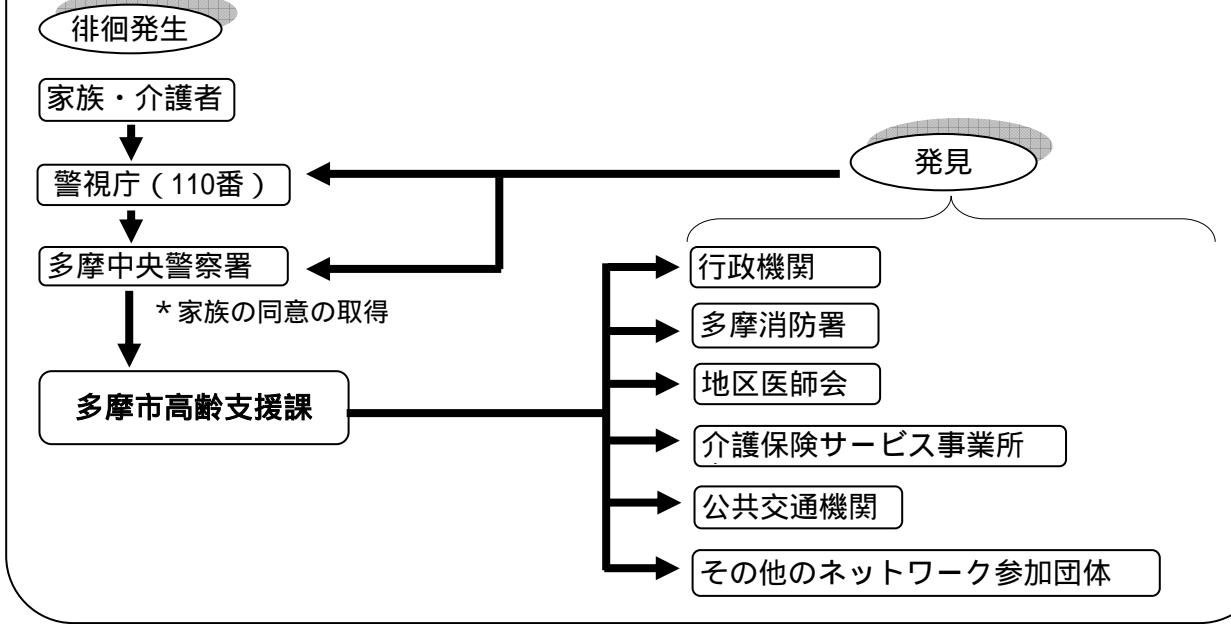


徘徊SOSネットワーク構築のイメージ



地域住民による対応
徘徊している人を地域住民が見つけたときに気づいて声をかけ、警察に連絡するまでの対応力の向上を図る。

職におけるネットワーク
多摩市が、主として警察署や消防署、保健所等の公共機関等から協力を得て(以下協力対象団体を「ネットワーク参加団体」という)、徘徊が発生したときに迅速・正確に必要な情報を伝達し、日常業務を通じた目くばりによって徘徊している人の早期発見を図る。

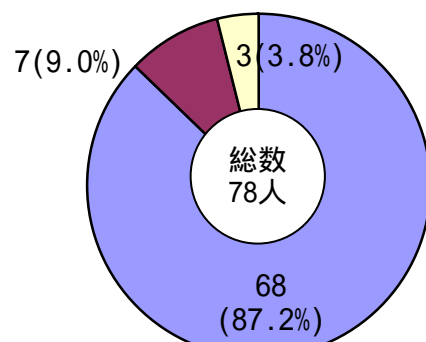


模擬訓練について

地域住民の徘徊への気づきと対応力向上訓練の概要

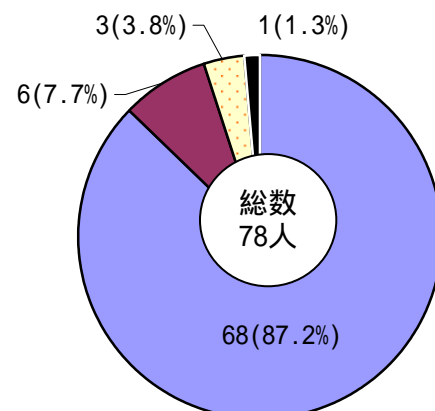
- ▶ **目的**
地域住民が徘徊している高齢者の人に遭遇したときの気づき・声かけ・警察への通報の方法を習得
- ▶ **実施日時/会場**
平成20年10月4日(土) 14:40～15:00/諏訪商店街広場
- ▶ **主催**
「オレンジの輪」実行委員会(※)、多摩市高齢支援課
(※)多摩市コーディネート委員会委員、諏訪地区の老人会、家族会により構成
- ▶ **実施内容**
 - ・諏訪地区の住民を対象としたサポーター養成講座講座終了後に開催
 - ・徘徊している人を発見した際の対応例を寸劇にして上演した後、徘徊している人への声掛けのポイントを解説
 - ・警察署の職員による110番通報の方法の説明
- ▶ **参加者** 80名
- ▶ **実施後のアンケート結果**
78名分回収(参加者...64名、実行委員...14名)

【今後の気づき】



- たぶん声かけできる
- もう1～2回受講すれば気づける
- 何度受講しても気づけるかどうか自信がない

【今後の声かけ】



- たぶん声かけできる
- もう1～2回受講すれば声かけできる
- 何度受講しても声かけできるかどうか自信がない
- その他

▶ 得られた成果

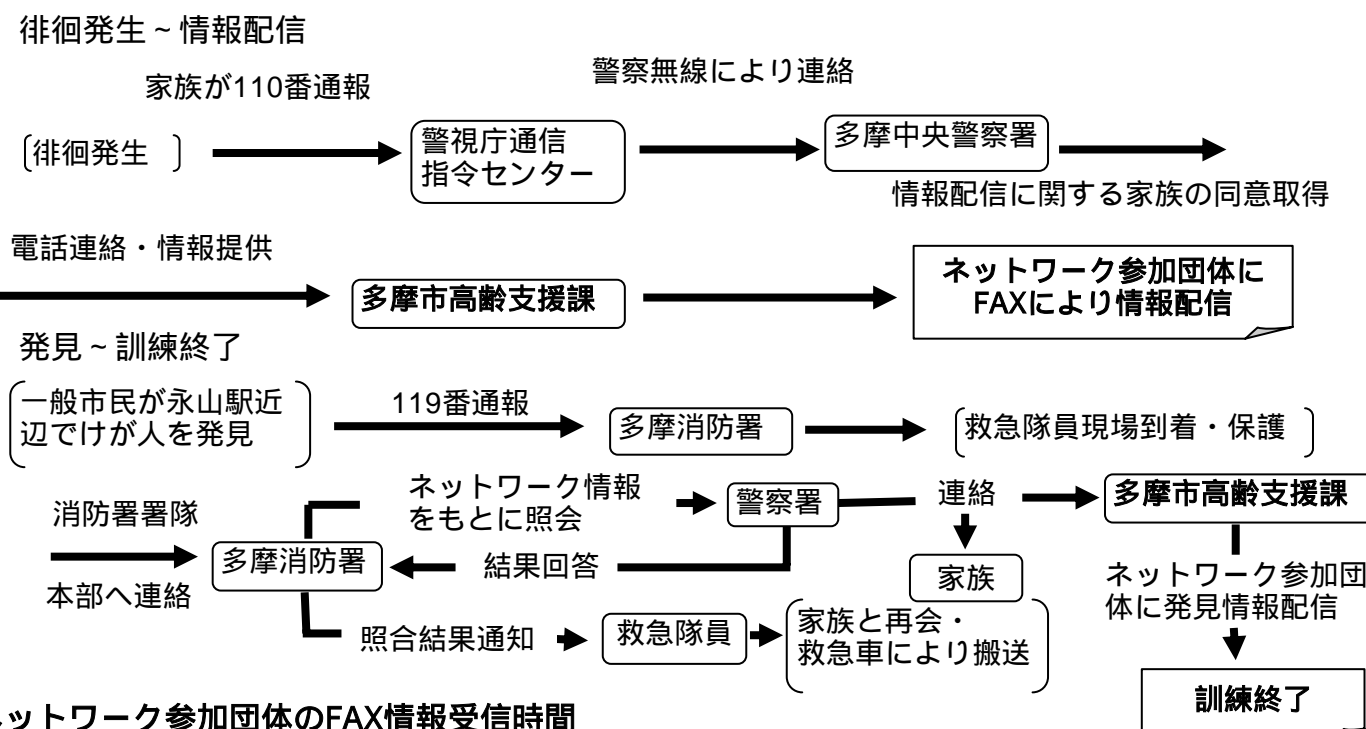
- ・徘徊が発生したときの地域住民の気づきの向上を実現できた。

今後検討を要する課題

- ネットワークに関する広報活動による地域住民への理解、普及促進
- 「職におけるネットワーク」における事務局組織の体制の向上、ネットワーク参加団体内部の伝達体制の整備
- 情報の伝達における家族からの同意取得の必要性・内容・方式、情報発信の可否等の判断基準の明確化、伝達方法等の検討
- ネットワーク参加団体が受領した個人情報の管理方法に関する取り決めの検討

徘徊SOS情報伝達訓練の概要

- ▶ **目的**
徘徊SOSネットワークの構築に向けてネットワーク参加団体を対象に実施。実際に徘徊が発生した場合を想定し、FAX等の伝達手段により必要な情報が迅速・正確に送付・受信されるかを検証
- ▶ **実施日時/会場**
平成20年10月30日(木) 13:00～14:00/永山駅周辺
- ▶ **主催**
多摩市高齢者問題情報連絡会(※)、多摩市高齢支援課
(※)2008年4月発足。多摩市高齢支援課、多摩中央警察署、多摩消防署、南多摩保健所、多摩総合精神保健福祉センター、多摩市社会福祉協議会により構成され、高齢者に関連した課題・情報を共有
- ▶ **参加団体**
多摩市高齢者問題情報連絡会、多摩市医師会、介護保険サービス事業所、地域包括支援センター(6ヶ所)
- ▶ **実施内容**
家族による110番通報、市民による119番通報とネットワーク参加団体の情報伝達訓練を実施



▶ ネットワーク参加団体のFAX情報受信時間

- ・徘徊発生情報配信時 最長時間...12分 最短時間...0分 平均時間...6.2分
- ・発見情報配信時 最長時間...20分 最短時間...1分 平均時間...7.4分

▶ ネットワーク参加団体の感想

- ・FAXを受信したあとの担当部署への連絡について事前に申し合わせをしておき情報がスムーズに流れた。
- ・実際に発生したときのFAXによる情報の受信の確認に関する取り決めに内部で決めておく必要がある。

▶ 得られた成果

- ・警察署と消防署の情報の連携の訓練が実施できた。